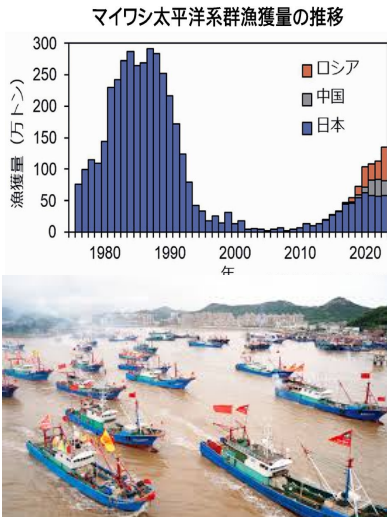




Yamaka Topics

マイワシ過剰漁獲



中国船の出航風景



高温を好むヒラメ。生息域は北へと広がり、浅瀬に移動。

近年、**ロシアや中国**が漁獲を伸ばす太平洋域のマイワシについて漁獲量が生物学的許容漁獲量の約2倍の**過剰漁獲状態**に陥っていることが水産研究・教育機構が公表した資源評価で示されました。**1980年代には1000万トンを超える資源量**といわれていたことが、**08年には10万トン以下までに減少**。現在は**133万トン**まで回復したといわれています。現在、日本はマイワシの漁獲可能量（TAC）を法的に制限していますが、国際的な規制は公海域での漁船の数の増加を防止する措置をとっているに過ぎず、十分な管理とは言えません。早急な国際的漁獲管理が求められています。

魚の生息域の変化

近年、水温の上昇によって多くの魚種の**分布状態が変わっている**ようです。**暖水を好む魚の生息域が北上したり、従来よりも生息域を広げ、同時に水温の低い場所を好む魚種は生息域をさらに北上させたり、水深の深いところに移動**しているとのこと。またプランクトンの種類も海流の変化によって変わってきており、サンマやイワシが生き残り辛い状態にあることで成長が遅れたり、それらを捕食するサバなどの身が痩せたりする一因にもなっているようです。また、大雨の激甚化、泥水の流入など水温以外の影響も加わっているという。

入荷状況&商品情報



10、11月
甘エビ
◎ブリ
◎ガスエビ
ササカレイ
メギス
◎アオリイカ
アマダイ
ノドグロ
ミズウオ
◎ベニズワイガニ



底引き網漁解禁が悪天候のため、3日遅れとなりましたが、入荷状況は例年にない不漁となっています。甘エビ、カレイ類、ガスエビなど**全般的に入荷量は少なく**、高値推移です。資源量が減っているようです。**ベニズワイガニ**の入荷がある時期ですが富山湾が不漁となっており、高値推移すると思われます。近々、新潟、秋田のズワイガニ漁が始まり、その後、11月には県内のズワイガニ漁解禁となります。**県内一大産地の輪島漁港ですが、解禁に向けて目下、準備を進めています**。今回の豪雨による漁港設備のダメージはないものの、輪島市民としては新たな負担となっています。

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。